

## コーポレート・ガバナンス報告書

最終更新日	平成 24 年 2 月 21 日
会社名	五洋食品産業株式会社
会社名（英訳）	GOYO foods Industry Co., Ltd.
本店所在地	福岡県糸島市多久 819 番地 2
代表者役職氏名	代表取締役社長 舛田 圭良
問合せ先	管理部 (092) 332-9610 (代表)
URL	<a href="http://www.goyofoods.co.jp/">http://www.goyofoods.co.jp/</a>
証券コード	2230

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は次の通りです。

### I. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

#### ■ 1. 基本的な考え方

当社は、株主の皆様やお客様をはじめとするステークホルダーから信頼される企業であり続けるとともに、持続的な企業価値の向上を目指しております。

そのために経営環境の変化に的確に対処し、迅速な意思決定を行うための組織体制の整備や経営の執行及び監督機能の充実を図り、適切な情報の開示と説明責任の遂行に努めることにより、経営の公正性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実に努めてまいります。

## ■ 2. 資本構成

外国人株式保有比率 10%未満

### 【大株主の状況】

氏名または名称	所有株式数（株）	割合（%）
舩田 圭良	83,456	38.48
成長企業応援投資事業有限責任組合	16,667	7.68
JAIC-みやざき太陽1号投資事業有限責任組合	16,666	7.68
エイチシー5号投資事業組合	11,000	5.07
舩田 タズ子	6,875	3.17
佐銀ベンチャーキャピタル投資事業有限責任組合第二号	6,000	2.76
ひびき北九州企業育成投資事業有限責任組合	6,000	2.76
山口キャピタル第2号投資事業有限責任組合	6,000	2.76
肥銀キャピタル(株)	5,000	2.30
藤 和崇	4,442	2.04

支配株主（親会社を除く）の有無 なし

親会社の有無 なし

## ■ 3. 企業属性

上場取引所及び市場区分 TOKYO AIM

決算期 5月

業種 食料品

直前事業年度末における（連結）従業員数 100人未満

直前事業年度における（連結）売上高 100億円未満

直前事業年度末における連結子会社数 10社未満

## ■ 4. 支配株主との取引を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針

該当事項はありません。

## ■ 5. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

該当事項はありません。

II. 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

■ 1. 機関構成・組織運営等に係る事項

(1) 組織形態 監査役設置会社

(2) 取締役関係

- ①定款上の取締役の員数 7名
- ②定款上の取締役の任期 2年
- ③取締役会の議長 社長
- ④取締役の人数 6名
- ⑤社外取締役の選任状況 選任していない
  - イ. 社外取締役の人数 0名
  - ロ. 社外取締役のうち独立役員に指定されている人数 0名

(3) 監査役関係

- ①監査役会の設置の有無 設置していない
- ②定款上の監査役の員数 4名
- ③監査役の人数 2名
- ④監査役、会計監査人、内部監査部門の連携状況

当社は大会社ではないため会計監査人は設置しておりませんが、如水監査法人との間で金融商品取引法に準じた監査契約を締結しており、随時、監査方針や監査実施状況に関する協議・連携の機会を設けております。

また、当社は内部監査部門を設置しておりませんが、社長により選任された内部監査担当者との間で、監査実施状況に関して、日常的に協議・連携を行っております。

- ⑤社外監査役の選任状況 選任している
  - イ. 社外監査役の人数 2名
  - ロ. 社外監査役のうち独立役員に指定されている人数 0名

会社との関係 (1)

氏名	属性	会社との関係 (※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
大野 良一									○	
横田 洋介									○	

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b 他の関係会社出身である
- c 当該会社の大株主である

- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

#### 会社との関係（２）

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	当該社外取締役を選任している理由
大野 良一			同氏は銀行業務を通じた財務知識、銀行関連会社の経営者として会社経営に関する幅広い経験・知識を有しております。
横田 洋介			同氏は銀行業務を通じた財務知識、銀行関連会社の経営者として会社経営に関する幅広い経験・知識を有しております。

#### （４）独立役員関係

- ①独立役員の数 0名
- ②その他独立役員に関する事項 なし

#### （５）インセンティブ関係

- ①取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況：  
該当事項はありません。
- ②ストックオプションの付与対象者：  
該当事項はありません。

#### （６）取締役報酬関係

- ①（個別の取締役報酬の）開示状況：個別報酬の開示はしていない

該当事項に関する補足説明

当社では、取締役（社外取締役を除く）の報酬の総額及び社外役員（社外取締役を含む）の報酬の総額を各々開示しております。

平成 23 年 5 月期における当社の役員報酬の内容は以下のとおりです。

取締役（社外取締役を除く）の年間報酬総額	14,100 千円
監査役（社外監査役を除く）の年間報酬総額	—
社外役員の年間報酬額	5,707 千円

## ②報酬の額又はその算定方法の決定方針の有無 あり

取締役の報酬は、株主総会で報酬の総額を決定し、企業業績と取締役個人の役位及び成果を適正に連動させることを基本方針として、取締役会でその配分を決定しております。

## (7) 社外監査役のサポート体制

社外監査役に対し、重要事項については、必要に応じて電子メール等を利用した事前説明を行い、意思決定をサポートしています。

## ■ 2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項

(現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要)

### (1) 企業統治の体制の内容

当社は、会社法に基づく機関として、株主総会、取締役会、取締役及び監査役を設置するとともに、業務執行の方針を協議する経営会議を設置しております。

#### ①取締役会

当社の取締役会は、取締役6名で構成しており、毎月1回定期に開催しているほか、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

取締役会では、経営の基本方針、法令、取締役会規程で定められた事項及びその他経営に関する重要事項を決定するとともに、取締役の職務執行を監督しております。

#### ②監査役

当社は、常勤監査役1名及び非常勤監査役1名の合計2名の監査役(ともに社外監査役)を設置しております。

監査役は、それぞれの業務分担に基づき、取締役会及びその他の重要な会議への出席、会社の業務及び財産の状況調査並びに各取締役との積極的な意見交換を通じて取締役の職務執行の監査を行うとともに、毎月1回定期に監査役協議会を開催し、情報の共有を図っております。

#### ③経営会議

経営会議は、代表取締役社長を含む全取締役及び部長で構成されており、毎週1回定期に開催しております。

経営会議では、取締役会に付議する事項の審議、業務執行にかかる方針及び計画の策定並びに執行状況の確認等を行っております。

#### ④内部監査

内部監査は、会社の組織、制度及び業務が経営方針並びに社内規程等に準拠し、効率的に運用されているかを検証、評価及び助言することにより、不正及び誤謬の未然防止、正確な管理情報の提供、財産の保全並びに業務活動の改善向上を図り、経営効率の増進に資することを目的として、代表取締役社長の指名を受けた内部監査責任者が、内部監査規程に基づき、全部門を対象として計画的に実施します。

## (2) 内部監査及び監査役監査

内部監査責任者と監査役は、随時情報交換を実施しており、それぞれの監査過程で発見された事項に関する情報を共有することにより、全社的な業務改善に連携して取り組んでおります。また、内部監査責任者と監査役は、監査法人とも定期的に意見交換を実施しており、各監査を有機的に連携させることにより、各監査の実行性及び効率性の向上を図るとともに、当社の業務の適正の確保に努めております。

## (3) 会計監査の状況

会計監査については、如水監査法人と監査契約を締結しております。

当社の第 36 期における監査業務を執行した公認会計士は、廣島 武文氏、内田 健二氏の 2 名であり、いずれも継続監査年数については 7 年以内であります。また、当該監査業務にかかる補助者は、公認会計士 3 名その他 1 名であります。

なお、当社と監査に従事する公認会計士及びその補助者との間には、特別の利害関係はありません。

### ■ 3. 現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択している理由

当社のコーポレート・ガバナンス体制は、取締役会及び経営会議により迅速な経営判断や意思決定を実現できるように配慮する一方、社外監査役 2 名による外部的見地からの監視により、十分な監督機能を保持しており、現状の企業規模及び経営の客観性確保の観点からみて最適であると考え、採用しております。

## Ⅲ. 株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

### ■ 1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況

当社の決算月は 5 月であり、定時株主総会の開催は集中日と異なる日となっております。

### ■ 2. IR に関する活動状況

IR 資料のホームページ掲載：当社 Web サイト上に IR 情報ページを設け、特定証券情報・決算情報等の TOKYO AIM 上場規程第 26 条に基づく情報を開示するとともに決算説明会資料等も掲載していく予定です。

IR に関する部署（担当者）の設置： 管理部にて対応しております。

### ■ 3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

株主の皆様やお客様をはじめとするステークホルダーに対し、会社の状況を適時に開示することは上場企業としての責務であると認識しております。

よって今後は、決算説明会の開催や当社 Web サイト上の IR 情報ページにてステークホルダーとのコミュニケーションを強化していきたいと考えております。

#### IV. 内部統制システム等に関する事項

##### ■ 1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

当社の内部統制システムの基本方針の概要は次のとおりであります。

###### ①取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務執行に係る情報については、法令及び文書管理規程等に基づき、電磁的記録又は文書により、秘密保持に万全を期すとともに、検索性の高い状態で保存・管理するものとする。

###### ②損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- ・リスクを適正に管理し、また、顕在化したリスクに速やかに対処するとともに、損失を最小限にとどめるために、危機管理規程を定めるものとする。
- ・リスク管理体制は、継続的に改善活動を行うとともに、内部監査において、その運用状況及び有効性を監査し、必要に応じて是正を講ずるものとする。

###### ③取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- ・取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するために、毎月1回定期に取締役会を開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、取締役の職務執行を監督するものとする。
- ・取締役は、取締役会で決定した経営の基本方針等の下に職務執行するとともに、その執行状況を取締役会に報告するものとする。
- ・「職務権限規程」、「業務分掌規程」等を定め、業務執行の責任体制と業務プロセスを明確にすることにより、取締役会の決定に基づく職務執行について、迅速かつ効率的な処理が行える体制を構築するものとする。

###### ④取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- ・取締役及び使用人が遵守すべき行動規範、社内規程等を定め、法令及び定款等への適合体制を確立する。
- ・職務執行については、法令、定款及び社内規程等に基づき、取締役会、経営会議その他の会議体等により決定するものとする。
- ・内部監査において、法令、定款及び社内規程等の遵守状況について監査を行い、必要に応じて是正を講ずるものとする。
- ・コンプライアンスに関する社内通報制度として、管理部に相談窓口を設けるものとする。
- ・反社会的勢力には、組織的に毅然とした態度で対応する。また、必要に応じて警察等関係機関や顧問弁護士と連携するものとする。

###### ⑤監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

当社は、監査役の求めに応じて、監査役の職務を補助すべき使用人として、当社の使用人の中から監査役補助者を置くことができるものとする。

###### ⑥⑤の使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役を補助すべき使用人の独立性を確保するため、当該使用人の任命、異動等の人事権に関わる事項の決定には、監査役からの事前の同意を得るものとし、人事考課については、常勤監査役の意見を考慮して行うものとする。

⑦取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

- ・代表取締役社長は、監査役と毎月1回定期的に意見交換を行うものとする。
- ・取締役及び使用人は、その職務執行において会社に著しい損害を与える事実並びに著しい損害を与えるおそれのある事実を発見した場合は、直接又は相談窓口を通じて、速やかに監査役に報告するものとする。また、監査役から報告を求められた場合は、必要な報告及び情報提供を適時適切に行うものとする。

⑧その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ・取締役会その他の重要な会議の開催にあたり、監査役が出席する機会を設けるものとする。
- ・監査役の監査が実効的に行われることを確保するため、内部監査責任者及び監査法人との連携体制の整備に協力するものとする。

■ 2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力には、組織的に毅然とした態度で対応し、取引関係その他一切の関係を持たないとともに、不当な要求には断固として応じません。また、必要に応じて警察等関係機関や顧問弁護士と連携して、対応します。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

反社会的勢力による不当要求に備え、平素より外部機関との連携を強化して反社会的勢力に関する情報の収集や管理を行っております。



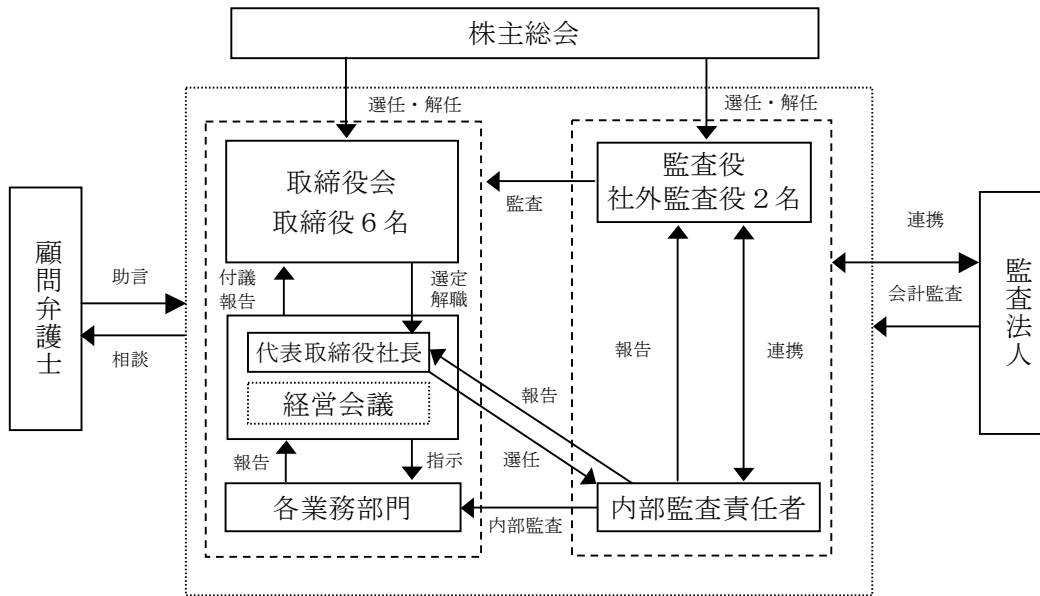
V. その他

■ 1. 買収防衛策の導入の有無   なし

■ 2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

(1) 模式図

当社のコーポレート・ガバナンス体制の模式図は、次のとおりです。



(2) 適時開示体制の概要

当社の適時開示体制フローは、次のとおりです。

